

～ 橋梁補修工事が完了しました～

平成21年度の当出張所の工事を順次紹介します。
昨年9月末より工事を行っていた
「置賜地区橋梁補修工事」が無事完了しました。
ご通行の皆さま、ご協力ありがとうございました。

工期：平成20年8月12日～
平成21年7月10日

場所：一般国道113号
(小国町～飯豊町)



～ おもむ施工箇所～



施工前



施工後

紅葉橋

砂を高圧で吹き付けて古い塗装や錆を取り除き、塗り替えました。
これにより、鋼材の腐食の進行が防止され、橋の寿命が延びます。又、景観も良くなりました。



施工前



施工後

赤芝スノーシェッド

施工前のコンクリート路面は長年の通行車両による摩耗で、わだちや損傷が激しかったため、
コンクリートの路面を機械で削り、アスファルト舗装を行ないました。
これにより、わだちにハンドルを取られたりすることなく、安全に走行できるようになりました。

ワンポイント

赤芝スノーシェッドは川側の路面半分が橋になっています。
紅葉橋の飯豊側も同様な構造です。



安全性向上の為、橋の防護柵(高欄)を1ランク上の強度の物に取り替えました。
又、朽朽化した伸縮継手を新しい物に取り替えました。

～伸縮継手とは～

橋は長さや構造によって違いますが、夏と冬の温度変化で数センチ伸縮します。
その伸縮の吸収や、耐震性向上のための重要な部材が伸縮継手です。
又、伸縮継手は路面の雨水などを下に漏らさない構造となっています。
その機能が失われると、雨水や冬期間の凍結抑制剤散布による塩分を含んだ雪解け水が下に
流れ、橋台などのコンクリートを傷めてしまいます。

現場代理人・監理技術者 小国開発株式会社 佐藤さんより一言。
「今回の工事は国道113号の約31km区間に施工箇所が点在し、橋梁の補修を中心に、雪崩予防柵等も施工するものでした。工種も多岐にわたりそれぞれの専門業者が多数出入りし、勉強させられることも多々ありました。交通規制を伴う作業においては、通行される皆様に分かり易い看板の設置、交通誘導員の配置位置等に気を配ったつもりですが、ご迷惑をお掛けした点多々有ったと思います。皆様のご理解とご協力により無事に工事を完成出来ましたことを感謝致します。



☆ご意見お問い合わせは
国土交通省 山形河川国道事務所
米沢国道維持出張所

〒992-0011 米沢市中田町260-2
TEL 0238-37-5300

